



菅原 隆文
(よねしろ会)

合併1年、二ツ井重点事業の進捗状況は

質問 ニツ井プロジェクト提言書10年間12の重点事業について、進捗状況や計画の実効性は。特に、上水道整備事業の早期実現についてときみまちの郷事業と関連する町の中心部に温泉つきコミュニティ施設建設の実現性についてはどうか。

答弁 重点事業の大部分は、既に実施または着手しており、未着手のものでも、効果が見込まれ、かつ、実施可能なものは、総合計画への位置づけも含めて、検討を進めている。二ツ井地域水道整備事業は、意向調査の結果から、現計画どおりの事業実施には時間がかかるものと考えているが、水不足等で苦慮している地区については、どのような手法で整備が可能となるか検討していく。きみまちの郷整備事業は、具体的な検討段階には至っていないが、駅通り商店会のいとく跡地のコミュニティ施設については、現在、研究委員会において話し合いを行っている。

二ツ井住民への日常生活不安緩和策の成果は

質問 合併によって生じた1万1千人の二ツ井住民の日常生活の不安に思う事柄の対応策について、工事発注・物品納入の特別処置の年数と東京二ツ井会や二ツ井高校存続支援の補助金等の存続、体育協会や芸術文化協会の望ましいあり方は。

答弁 工事発注等は、おおむね3年程度はこれまでの方法での実施を考えており、21年度以降は、発注方法等の統一化など、調査検討した上で判断したい。東京二ツ井会へは、補助金の支出等の支援を行っているが、合併後3年を目処に見直しをしたい。また、二ツ井高等学校については、山本郡の町村が後援会に対して支援をしてきたが、他の3町と協議しながら検討したい。体育協会は、能代・二ツ井それぞれの協会の記念事業(19年・20年)が終了してから統合する方向で協議を進めている。また、芸術文化協会は、新たに任意団体を組織し取り組みを進めている。

菅原議員のその他の質問事項
。二ツ井提言書の総合計画への課題



畠 貞一郎
(大河・生々・みどりの会連合)

中心市街地活性化ビジョンの必要性

質問 中心市街地活性化の政策は今までも数多く策定されてきたが実現には至っていない。市長は、イオン出店に対して説明会を開催していないが、商工会議所、能代まちづくり市民会議などの協力を得た上でビジョン策定ができるのか。

答弁 まちづくりの推進は民間と行政とが一体となって取り組むことが必要であり、広く民間を巻き込みながら協議会形式で議論を深め、課題を整理しながら、民間の意見や考え方を取り込んだビジョンにしたいと考えている。協議会の構成メンバーとしては、市民や地域団体、商業者、地権者、金融機関、民間事業者などを想定している。中心市街地を活性化したいという思いは皆同じだと思うので、メンバーの選定に際しては、出店の賛成、反対を問わず行いたいと考えており、協議会の設置後も門戸を開放し、建設的な議論を行っていききたい。

畠議員のその他の質問事項
。全天候型陸上競技場

市長の説明責任と政治信念

質問 市長は総合的判断でイオン出店を判断し、説明責任をみずからは果たしていると言っているが、市民の多くは果たしていると思っていない。政治信念を持って説明責任を果たすべきではないか。

答弁 市として、何らかの判断を下したことや施策を決定し実行に移すことについて、市民に対する説明責任を果たすことは、当然必要なことであり、イオン新能代ショッピングセンターについても、議会への説明、各団体への説明、シミュレーションの公表など、これまでさまざまな場面において説明責任を果たしてきたと考えている。こうした中で、能代まちづくり市民会議から説明会開催の要望書が提出されたが、説明会の開催については、現在検討を行っており、できるだけ早い時期に結論を出していきたい。